

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	人工知能を用いた悪性骨腫瘍の画像診断システムの開発			
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院整形外科において悪性骨腫瘍の治療を受けた方を研究対象とします。			
3. 対象となる期間	2003年 1月 1日 ~2018 年 12月 25日			
4. 実施診療科等	整形外科			
5. 研究責任者	氏名	大鹿周佐	所属	むつ下北地域医療学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生・再建学講座 整形外科学 教授 尾崎 敏文			
7. 研究の意義	悪性骨腫瘍は「希少がん」の一つですが、診療経験のある専門医が少ないことから、初診医に見逃されることも少なくありません。近年、人工知能(Artificial Intelligence; AI)の発展は目覚ましく、医療分野への応用が期待されています。AIを応用した悪性骨腫瘍の正確な画像診断が可能となることで、クリニックでの初診時に見逃される機会が減り、治療成績の向上にも繋がるのが期待されます。			
8. 研究の目的	悪性骨腫瘍患者を対象とし、単純X線、CT、MRIなど画像検査データを使用することで、AIによる診断システムツールの開発を行います。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	匿名化された患者画像データ(単純X線、CT、MRI)が保存されたCD、診断名と病理組織結果(病理医の報告書)が記載された印刷物(氏名、生年月日を含まない)を、研究主幹施設である岡山大学に郵送で提供します。同施設において提供した画像データを用い、学習用画像データの作成を行います。人工知能学習には多くの画像データが必要であり、希少疾患であるが故に症例数が圧倒的に少ないため、CTからのレントゲン画像作成や、病変を人為的に付け加えた「学習用画像」を作成してdeep learningを行います。			
10. 個人情報の保護	この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。 1)患者基本情報:診断名のみ 2)病理検査結果(病理医の報告書)が記載された印刷物 3)画像データ(単純X線、CT、MRI)。			
11. 利益相反に関する状況	本研究の実施にあたっては資金を必要とせず、利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 大鹿 周佐			
	電話	0172-39-5083	FAX	0172-36-3826